

# こくろろ秋田

## 政治変革につなげる 〇九春闘を!

### 〇九年春闘討論集会・春闘懇年次総会開催

十二月二十一日、秋田市文化会館において、県内の労組組合員約八十名が参加し、「〇九春闘討論集会・〇八春闘懇年次総会」が開催された(国労参加者は七名)。

第一部の討論集会は自治労連県本部越後谷委員長と国労渡邊地本書記長の司会で始まり、県春闘懇代表委員である

県医労連中村委員長の挨拶の後、埼玉大学経済学部相沢幸悦教授による「金融危機と私たちのくらし」と題した記念講演が行われた。

相沢教授は「二〇〇八世界金融危機は歴史上最悪の経済恐慌」だとして、その歴史的背景や金融危機のメカニズム、アメリカの産業構造のイビツ

性(重工業、農業、金融)、アメリカドルの垂れ流しによる信用低下とユーロ登場、イラク戦争との関連など、度々話がアチコチに脱線しながら熱弁をふるった。

(相沢教授は「カジノ資本主義の克服」(監修)などの著作があり、経済紙の取材や労働組合の学習会など多忙のようす。男鹿市出身) 第二部の「〇八春闘懇年

国鉄労働組合  
秋田地方本部  
(秋田市中通  
7-2-21  
018-832-3775)

発行責任者  
瀬下 一司  
編集責任者  
佐藤 浩一



抜き目の対応のため現場では混乱が生ずるばかり(全厚生・社会保険庁)など衝撃的な発言もあった。また、鹿角病院

における医師不足による診療中止(精神科)や米内沢病院の統合に伴う医療過疎の問題なども発言された。

総会の最後に、代表委員である県労連佐々木議長が閉会の挨拶を述べた。

「団結がんばろう!」を行い終了した。

次総会」では越後屋事務局長より〇八春闘総括や決算、〇九春闘方針などについて提起、討論された。

発言の中には「夜二十時になって職員の半分くらいが帰宅。土日も出勤で代休も取れない人も。休日には身体を休めるだけで何もする気がしない。大臣が発表すれば翌日には指示文書で対応を迫られ、検証

なりそうだ。正規と非正規、組織労働者と未組織労働者との接近、そしてあらゆる場面で共闘のうねりを作り出さない限り闘いの展望は開けない。

**【秋田県春闘懇09年度役員】**

代表世話人	佐々木 章	県労連議長
	中村 秀也	県医労連執行委員長
	瀬下 一司	国労秋田地本執行委員長
	高野 智子	県国公議長
	越後谷利秋	自治労連県本部執行委員長

事務局は7単組8人で構成

### 秋田支部旗開き開催

十六日、国労会館三階を会場に秋田支部旗開きが開催されました。昨年は恒例の国労会館入居団体の忘年会が行われなかったため、今回の旗開きで合同の開催となりました。参加者は50名。

後藤副委員長の司会で山本支部委員長がこの一年間取り組むべき課題を中心に、瀬下地本委員長が情勢を中心に挨拶を行った後、武藤書記長の

音頭で乾杯。続いて、会館に入居されている団体からそれぞれの団体の紹介と取り組んでいる運動などを含めて挨拶が行われました。(参加された団体は学習協、鉄道退職者の会、県革新懇、県平和委員会、年金者組合)。また、交運共済生協の高橋・秋田事業部長も参加されました。

その後、各分会代表から新年の抱負やら決意表明が行われました。

第二部の司会は高橋副委員長の名調子で進められ、ビンゴやコーラの一気に飲みなどのゲームで大いに盛り上がり、時間を忘れて気炎を上げまくりました。

九日は秋田総合車両センター支部(参加者五十名)、十日は横手地区協(七十名)の旗開きがそれぞれ開催されました。

**【今後の日程】**  
一月三十日(金)  
第一七九回拡大中央委員会  
交通ビル  
二月七日(土)  
東日本本部第二六回拡大委員会  
交通ビル  
二月二一日(土)  
第一一〇回拡大地方委員会  
13時、国労会館